

憲法、日米関係

憲法の使い方考えよう＝劇作家・萩原雄太氏－インタビュー・憲法改正を問う



憲法に関するインタビューに答える劇作家の萩原雄太氏＝14日、東京都墨田区

憲法を題材とした演劇「俺が代」を公演した劇作家の萩原雄太氏に憲法改正について話を聞いた。

－「俺が代」とはどんな作品か。

憲法の条文や、1947年に憲法解説のために書かれた教科書「あたらしい憲法のはなし」、尾崎行雄衆院議員の演説などを読む一人芝居。憲法制定時代に込められたパッションに触れられるテキストを選んだ。

（憲法などには）敗戦後をいかにして生きるか、この時代じゃないと書けない迫力がある。「あたらしい憲法のはなし」の冒頭は「みなさん、あたらしい憲法ができました」から始まる。戦争放棄の項目では「世の中に正しいことぐらい強いことはありません」と言い切っている。

－「国政は、俺の厳粛な信託による」など、劇中で憲法の「国民」を「俺」に置き換えた狙いは。

私たちが為政者に何かを求めるといふ憲法の根本は、理解はできるがイメージが湧きにくい。素の自分で憲法と向き合う意図から「俺」という丁寧ではない言い方を使った。

－一部保守層に、前文の「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼し」の記述を疑問視する向きがあるが。

臭い理想だが、少なくとも当時の人にとっては切実な記述だ。日本だけでなく（ドイツの哲学者）カントから始まる不戦を目指してきた歴史の上にある。理想と現実には常にどちらかではなく、両方あってしかるべきだ。現実にはすぐわかない理想が正しくない、というのはせこい。そのための努力をすべきだ。

－「俺が代」で訴えたかったことは何か。

どう憲法と向き合い、（憲法を）使うことができるのか、だ。憲法の中には何が入っていたのか、もう一度立ち戻ろうとした。だから改憲でも護憲でもどちらでもいい。46年衆院本会議での尾崎氏の演説を俳優に再現させたように

「良い憲法を作ることはまことに容易なこと」だ。しかし「これ（憲法に明記されたこと）を行うことは非常に難しい」。何を目指し、憲法をどう使うか考えることが大事。それには不断の努力が要る。

－今後の憲法議論に何を期待するか。

もっと多様な立場の人が憲法について話せば面白い。それができずにイデオロギー（論議）に終始してしまうと、あまりにももったいない。

萩原 雄太氏（はぎわら・ゆうた）1983年生まれ。早大第二文学部卒業。劇作家兼演出家。2007年から劇団「かもめマシーン」主宰。茨城県出身。（時事通信 2017/08/20-16:49）

安倍首相「日米連携強化を」＝外相と防衛相が帰国報告

安倍晋三首相は20日、東京・富ヶ谷の私邸で河野太郎外相、小野寺五典防衛相と個別に会い、ワシントンでの外務・防衛担当閣僚による日米安全保障協議委員会（2プラス2）の報告を受けた。首相は小野寺氏に「しっかりと日米の連携を強めてほしい」と指示した。

河野氏とは、米領グアム島周辺への弾道ミサイル発射を予告している北朝鮮への対応についても意見を交わした。

（時事通信 2017/08/20-19:07）

安倍首相「日米で連携強化を」 2プラス2、閣僚報告に共同通信 2017/8/20 19:04

安倍晋三首相は20日、河野太郎外相、小野寺五典防衛相と東京都内の私邸で個別に会い、ワシントンで実施された日米両政府の外務・防衛担当閣僚による安全保障協議委員会（2プラス2）の報告を受けた。首相は「しっかりと日米の連携を強めてほしい」と述べた。小野寺氏が記者団の質問に答えた。

2プラス2では北朝鮮の対応を巡り、非核化と弾道ミサイル開発阻止に向けて圧力を継続することで一致。自衛隊の役割を拡大し、防衛能力を強化する方針を確認した。

2人との面会に先立ち首相は、長谷川栄一首相補佐官らと会い、モスクワで行われた日ロ両政府の外務次官級協議について報告を聞いた。

安倍首相 2+2報告受け日米間の連携強化を指示

NHK8月20日 19時01分

安倍総理大臣は、20日午後、河野外務大臣、小野寺防衛大臣と相次いで会談し、先週ワシントンで開かれた日米の外務・防衛の閣僚協議、2+2について報告を受け、日米間の連携をさらに強化していくよう指示しました。

安倍総理大臣は、20日午後、東京都内の自宅で、河野外務大臣、小野寺防衛大臣と相次いで会談しました。

両大臣は、先週17日にワシントンで開かれた日米の外務・防衛の閣僚協議、2+2で、核・ミサイル開発を加速する

北朝鮮に圧力をかけ続けていくほか、厳しさを増す安全保障環境を踏まえて、日米同盟の強化に向け、日本の役割を拡大していくことで合意したことなどを報告しました。

これに対し、安倍総理大臣は「よかった」と評価し、「日米の連携をしっかりと強めてほしい」と応じたということです。また、会談では21日から始まるアメリカ軍と韓国軍による定例の合同軍事演習に対し、反発する北朝鮮への対応などをめぐっても意見が交わされました。

会談のあと、小野寺大臣は、記者団に対し、「2+2と日米防衛相会談について、安倍総理大臣に報告した。日米の連携をしっかりと強めてほしいという話があった」と述べました。

米軍 報告書を黒塗り 調査結果や勧告 うるま沖ヘリ墜落

琉球新報 2017年8月20日 08:30

琉球新報は19日までに、2015年8月にうるま市沖の米海軍艦船に米陸軍特殊作戦用MH60ヘリが墜落した事故の米軍報告書197ページ全文を入手した。米軍の調査結果やそれに対する勧告、事故調査委員会（事故調）の分析、機長ら乗組員らの証言、機体残骸の様子など、事故の真相を知るために必要な情報のほとんど全てが分からないように「黒塗り」にされている。当時実施していた特殊作戦訓練の内容についても全てが不開示だった。米軍の情報開示に対する消極姿勢に批判が集まるのは必至だ。



詳細部分が黒塗りされて公表された米軍の事故報告書

04年の米軍ヘリ沖国大墜落事故で、イラク戦争への派遣に備えるため整備兵が無理な長時間勤務を強いられていた実態が盛り込まれた事故報告書とは、開示姿勢が全く異なる。

防衛省が18日、本紙取材に対し報告書を公表した。同省によると、「黒塗り」は米側が情報公開用に施した報告書を日本側に提供したという。事故後の「勧告」も全て黒塗りだが、日本政府が17日に報告書の概要を公表した際に説明した再発防止策については、報告書を受けて日本側が

米軍側に問い合わせたまとめた。

報告書は「米陸軍機事故の技術的報告書」で文中では事故を「墜落」と表現している。(1) 事故概要 (2) 事故調 (3) 事故前後の状況説明と事故調の分析 (4) 乗組員証言 (5) 事故直後の艦上分析結果 (6) 個人データ (7) けがの具合などで構成する。

「調査結果」は七つに分かれて報告しているが全て黒塗り。それに対応する「勧告」も表題以外全て不開示。事故機のヘリとしての一般的な性能や当日どのような飛行をして事故を起こしたかの経緯は読めるようになっているが、それを受けた事故調の「分析」となるとまた黒塗りだ。

訓練の内容に関連して、米陸軍特殊作戦航空司令部の訓練プログラムの乗員マニュアルも添付されているが、全て黒塗りされている。事故機には陸上自衛隊中央即応集団(神奈川)所属の隊員2人も「研修」名目で同乗していたが、2人を含め機長や乗組員らの名前も伏せられている。

事故概要では「艦船の甲板に強制的に着陸し、機体はかなりの損傷を受けた」と説明、最も重大な「クラスA」と分類した。「4人の乗組員と3人の搭乗者が負傷した」と説明している。

事故調の勧告は16年9月27日付で、米陸軍特殊作戦司令部の司令官がサインし承認した。日本政府によると、日本側には17年4月に提供された。一般には8月17日に概要が公表された。(滝本匠、仲村良太)

無人機グローバルホーク導入中止を検討 費用23%増 朝日新聞デジタル 土居貴輝 2017年8月21日 05時06分



米軍

の無人偵察機グローバルホーク。5月には米軍横田基地に初配備された

上空から監視する無人偵察機「グローバルホーク」の導入について、防衛省が中止を含めて見直す検討を進めていることが分かった。導入を決めた際は3機分で約510億円と見積もっていたのが、米国のメーカーが日本向けに製造するには追加費用がかかることが判明。約23%増の約630億円にまで膨らむ見込みになったためだ。複数の政府関係者が明らかにした。

防衛装備庁は、高額な装備品の導入にかかる費用が見積もりより15%上回った場合、計画の見直しを義務づけて

おり、今回はその規定が適用される初めてのケースとなる。
来年度予算の概算要求に向けて、小野寺五典防衛相が近く、
導入を続けるか中止するかを最終判断する。

現在の中期防衛力整備計画（２…